

DVに関するアンケート調査結果報告について

生活こども課男女共同参画室

県では、DVに関する県民の意識、実態、要望等を調査し、課題や県民ニーズを把握することを目的として、「DVに関するアンケート調査」を実施しました。

調査結果は、令和5年度における「第5次ぐんまDV対策推進計画」の策定や、今後の政策立案の参考資料とする予定です。

I 調査の概要

	(1)DVに関するアンケート調査	(2)デートDVに対するアンケート調査
① 調査対象	県民	県が実施するデートDV防止啓発講座の受講者(高校生、大学生※)
② 回答人数	1,788人	594人(6校)
③ 調査方法	Formsを利用	受講者へアンケート配布・回収
④ 調査期間	令和5年1月～2月	令和4年4月～令和5年1月

※前回調査は、(1)(2)ともに、平成29年9月～平成30年3月に実施した。

※基本的には経年比較するために前回調査を踏襲しているが、一部の設問について、選択肢の内容を変更した部分がある。

II 調査結果のポイント ()内は前回調査の数値

1. DVに関するアンケート調査

(1)DV被害・加害経験

<被害経験>

ある 22.0%(14.4%)

なし 78.0%(85.1%)

<加害経験>

ある 10.4%(8.0%)

なし 89.6%(89.8%)

※約5人に1人が被害経験があると回答している。

<被害種類別> ・注1 全員が以下の項目についてそれぞれ回答。数値は「1度でも被害がある」と回答した人の割合。

「精神的な暴力」(暴言、無視、怒鳴る、見下した発言、脅迫等) 18.5%(注2)

「社会的な暴力」(家族や友人との付き合いを制限・監視、電話やメール、SNSのチェック等)7.1%(注2)

「身体的な暴力」(なぐる、ける、物を投げつける、突き飛ばす、刃物でおどす等)7.0%(4.7%)

※依然として、「精神的な暴力」の割合が最も高くなっている。

※2 前回調査の設問は「精神的な暴力・社会的な暴力」であり、その回答は9.1%であった。

(2) 被害を受けた時の相談相手 (複数回答)

- ・「どこ(だれ)にも相談したことがない・しなかった」 46.6%(50.7%)
〈男女別内訳〉 女性:40.1%(39.4%)、男性:68.5%(82.9%)
- ・「知人・友人」 32.8%(27.7%)
- ・「家族や親戚」 24.2%(20.3%) など

※「どこ(だれ)にも相談したことがない・しなかった」が半数近くを占める。また、男性は女性に比べ、「どこ(だれ)にも相談したことがない・しなかった」割合が1.5倍以上となっている。

(3) 相談しない理由 (複数回答)

- ・「相談するほどのことではないと思うから」 48.1%(46.7%)
- ・「自分さえがまんすれば、何とかこのままやっていけると思うから」 25.0%(18.0%)
- ・「相談してもむだだと思うから」 23.6%(18.0%) など

※「相談するほどのことではないと思うから」、「自分さえがまんすれば、何とかこのままやっていけると思うから」など相談することに対して消極的な回答が多い。

(4) DV被害者支援制度等の認知度 (複数回答)

- ・「警察」 78.5%(45.0%) 注
- ・「ストーカー規制法」 71.5%(50.7%)
- ・「DV防止法」 52.0%(39.4%)
- ・「いずれも知らない」 8.3%(9.7%) など

※「警察」の割合が最も高く、「いずれも知らない」が約1割となっている。

注) 前回調査の設問は「警察における相談窓口」であった。

(5) 暴力を防止し、よりよい関係を築いていくために必要なこと (複数回答)

- ・「相談体制の充実」 63.9%(50.0%)
- ・「学校教育の充実」 50.4%(30.9%) など

※相談することに消極的な回答が多い一方で、暴力を防止するためには「相談体制の充実」が最も求められている。

2. デートDVに関するアンケート調査

(1) デートDVの認知度

- ・「知っていた」 86.2% (55.2%)
 - ・「知らなかった」 13.1% (43.9%)
- ※8割以上が「知っていた」と回答している。

(2) デートDVの経験

- ・「相手から受けたことがある」 11.2% (6.7%)
 - ・「相手にしたことがある」 0.4% (1.1%)
 - ・「どちらもある」 1.1% (1.5%)
 - ・「どちらもない」 87.3% (90.8%)
- ※DVの被害経験・加害経験より低いものの、被害・加害ともに見受けられる。

(3) デートDVの被害 (複数回答)

<被害経験> ※(2)で「相手から受けたことがある」と答えた人が回答

- ・「メールや通話の相手のチェック、友人との付き合いの制限」(精神的暴力) 60.0% (53.8%)
- ・「バカにされる、傷つくことを言われる、どなられる」(精神的暴力) 51.4% (36.9%)
- ・「キスや性的なことを強要」(性的暴力) 40.0% (32.3%)
- ・「なぐる、つねる、ける、物を投げつけられるなど」(身体的暴力) 25.7% (23.1%)
- ・「しつこく電話やメール、待ち伏せやつきまとい」(ストーカー行為) 22.9% (46.2%)
- ・「お金を返さない、取り上げられる」(経済的暴力) 5.7% (12.3%)

※DVの被害同様、「精神的な暴力」が最も多くなっている。

(4) デートDVを受けたとき、相談したか ※(2)で「相手から受けたことがある」と答えた人が回答

- ・「相談した」 29.7% (27.7%)
- ・「相談しなかった」 70.3% (64.6%)

※「相談しなかった」が7割を超えており、DV被害の割合より高くなっている。

(5) 相談しなかった理由 (複数回答)

- ・「自分がガマンすればいいと思ったから」 53.8% (47.6%)
- ・「デートDVであると気付かなかったから」 46.2% (33.3%)
- ・「相手のことが好きだから」 34.6% (38.1%) など

※相談しなかった理由として「自分がガマンすればいいと思ったから」が5割を超え、次いで、「デートDVであると気付かなかった」が高かった。